

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	①文化芸術に関する産業の創出・振興
			施策の小項目名	○文化芸術の産業化に必要なノウハウをもった人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組		対応する成果指標	文化資源を活用したビジネスの自走化件数（累計）
施策の方向	・ 本県には、琉球舞踊、組踊、沖縄音楽、エイサー等の世界に誇れる優れた文化資源があり地域振興の資源として大きな可能性を秘めていることから、これらを活用した観光コンテンツの開発や認知度向上を図ることによる文化観光の推進をはじめとして、様々な分野における文化芸術の産業化に必要なノウハウを持った人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化資源を活用した文化体験プログラムモデルを構築し実施する。	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

27,409

25,340

令和5年度活動内容

選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞やワークショップを実施した。

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

17,160

令和6年度活動計画

選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞やワークショップを行う。

活動指標名

文化体験プログラムの実施回数
(累計)

R3年度

R4年度

実績値

0回

6回

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

4回 (10回)

10回 (20回)

40.0%

進捗状況

大幅遅れ

活動概要

文化団体派遣に係る周知 (チラシの作成・配布、HP・SNS・イベントでの周知、電話・訪問営業)・案内を行い、県内施設へ派遣を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

夏場の観光シーズンに向けた事業周知が遅れた他、当初の周知先が少なかったため、観光シーズン中の派遣ができなかった。また、当事業による派遣報酬が低額であったため派遣合意に至らない事例が生じた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○演者同士の繋がりや、派遣時期を早めに調整するなどし、実施回数の目標値を達成できるよう努める。

派遣時期を早めに調整するため、6月から事業周知を開始したが、観光シーズンを加味するとさらに早い時期での周知が必要だった他、当初の周知先が少なかったため、派遣実施が遅れた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	事業の周知時期及び周知先について見直す他、文化団体の派遣報酬額についても検討が必要。	⑧ その他	事業周知時期を早め、周知先も増加させる。その他、文化団体の派遣報酬額を見直す等により、文化資源を活用したプログラムモデルの構築を目指す。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	①文化芸術に関する産業の創出・振興
			施策の小項目名	○文化芸術の産業化に必要なノウハウをもった人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	文化資源を活用したビジネスの自走化件数（累計）
施策の方向	・本県には、琉球舞踊、組踊、沖縄音楽、エイサー等の世界に誇れる優れた文化資源があり地域振興の資源として大きな可能性を秘めていることから、これらを活用した観光コンテンツの開発や認知度向上を図ることによる文化観光の推進をはじめとして、様々な分野における文化芸術の産業化に必要なノウハウを持った人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県、市町村、関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの発信件数(累計)		
		12件	12件(24件)	12件(36件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

琉球文化日本遺産事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

1,400

1,400

令和5年度活動内容

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。

予算事業名

琉球文化日本遺産事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

1,400

令和6年度活動計画

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促す。

活動指標名

Webサイトでの発信件数（累計）

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

進捗状況

概ね順調

活動概要

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促すことにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体が主催のイベント等の情報発信を合わせて行った。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和6年度に日本遺産認定継続の審査を控えており、引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく必要がある。	⑧ その他	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	①文化芸術に関する産業の創出・振興
			施策の小項目名	○文化芸術の産業化に必要なノウハウをもった人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備
主な取組	琉球料理伝承人の育成・フォローアップ		対応する成果指標	文化資源を活用したビジネスの自走化件数（累計）
施策の方向	・本県には、琉球舞踊、組踊、沖縄音楽、エイサー等の世界に誇れる優れた文化資源があり地域振興の資源として大きな可能性を秘めていることから、これらを活用した観光コンテンツの開発や認知度向上を図ることによる文化観光の推進をはじめとして、様々な分野における文化芸術の産業化に必要なノウハウを持った人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材(琉球料理伝承人)の育成講座・フォローアップ講座を実施する。	県	沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材(琉球料理伝承人)の育成講座・フォローアップ講座の実施		
		講座参加人数(累計)		
		70人	70人(140人)	70人(210人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名 沖縄食文化保存普及継承事業				予算事業名 沖縄食文化保存普及継承事業			
主な財源		実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
一括交付金 (ソフト)		委託	19,537	20,997	主な財源		当初予算額
					一括交付金 (ソフト)		18,348
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施した。				沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施する。			

活動指標名	講座参加人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	53人	175人 (228人)	70人 (140人)	100.0%	順調	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

既存の琉球料理传承人に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施し、次世代の担い手を育成することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度 of 取組改善案	反映状況
○ 令和5年度の取組については、既存の担い手に対する取組を重視し、フォローアップ講座の開催を増やすことで、受講者の増につなげる。	既存の传承人に対するフォローアップ講座の開催数や受講定員数を増やしたことで、受講者の増加につながり、琉球料理传承人全体の理解・技術を高めることができた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図るため、新たな担い手の育成にも取り組む必要がある。	⑧ その他	令和6年度については、既存の琉球料理传承人に対するフォローアップ講座のほか、担い手育成講座を実施し、新たな担い手の育成にも取り組む。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	①文化芸術に関する産業の創出・振興
			施策の小項目名	○文化芸術の産業化に必要なノウハウをもった人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備
主な取組	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業		対応する成果指標	文化資源を活用したビジネスの自走化件数（累計）
施策の方向	・本県には、琉球舞踊、組踊、沖縄音楽、エイサー等の世界に誇れる優れた文化資源があり地域振興の資源として大きな可能性を秘めていることから、これらを活用した観光コンテンツの開発や認知度向上を図ることによる文化観光の推進をはじめとして、様々な分野における文化芸術の産業化に必要なノウハウを持った人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する事業実施者への支援。	県,事業者,関係団体等	沖縄の歴史文化資源を活用した新たなビジネスへの支援		
		新たなビジネスへの支援数(累計)		
		6件	10件(16件)	10件(26件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

34, 849

39, 920

令和5年度活動内容

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、10件の取り組みに支援（補助）を行った。

予算事業名

琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

補助

37, 852

令和6年度活動計画

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、支援（補助）を行う。

活動指標名

新たなビジネスへの支援数（累計）

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

0件

6件

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

10件（16件）

10件（16件）

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し支援（補助）を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を支援することで、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備に取り組めた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○引き続き講演会の開催や事業報告会の開催することにより、本事業の認知度向上を図る。

講演会や事業者報告会の他、新聞やSNS広告等により認知度の向上を図った

- 11 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	新たなコンテンツ制作に関する周知及び過去に作成されたコンテンツの認知度向上が課題。	⑧ その他	引き続き、講演会や事業者報告会の他、新聞やSNS広告等により認知度の向上を図る。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	②空手を活用した産業の創出・振興
			施策の小項目名	○新たな産業の創出
主な取組	沖縄空手ガイドの養成		対応する成果指標	空手を組み込んだ体験型観光プログラムや商品等の開発件数
施策の方向	・空手については、武道ツーリズムによる観光産業や商工業等関連産業への波及効果が期待できることから、空手を目的とした交流人口を増やし、「空手関連産業」という新たな産業の創出を図るため、国内外の空手愛好家から観光客まで幅広い層を対象に空手を組み込んだ多様で魅力ある体験型観光プログラムや商品等の開発支援に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手の歴史や県内各地に所在する空手関連顕彰碑及び縁の地等に関心を持っている海外の空手愛好家等のニーズに応えるため、沖縄空手の専門ガイドを育成する。	県	沖縄空手専門ガイドの養成		
		沖縄空手専門ガイドの養成人数(累計)		
		24人	24人(48人)	24人(72人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	沖縄県空手振興事業（聖地・沖縄空手ガイド養成事業）			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	8,583	12,090	
令和5年度活動内容				
通訳ガイドの心得、空手の歴史、特徴、体験、フィールドワーク等のカリキュラムや講座を開設し、英語・中国語・スペイン語の専門ガイドを養成した。				

(単位：千円)

予算事業名	沖縄県空手振興事業（聖地・沖縄空手ガイド養成事業）		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ソフト）	委託	12,090	
令和6年度活動計画			
通訳ガイドの心得、空手の歴史、特徴、体験、フィールドワーク等のカリキュラムや講座を開設し、英語・中国語等の専門ガイドを養成する。			

活動指標名	沖縄空手専門ガイドの養成人数 （累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	33人	31人	35人（66人）	24人（48人）	100.0%	順調	

沖縄空手の歴史や特徴等を学ぶ養成講座を実施し、沖縄空手の専用のガイドを養成した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手ガイドの養成に係る講座等の実施体制や実施内容を調整し、効率的な知識の定着を図り目標を達成することができた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。 ○ 空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、今後は、英語以外のガイドの養成にも取り組んでいく。	○ 受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。 ○ 空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、令和5年度に引き続き多言語のガイドの養成にも取り組んでいく。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	研修期間については受講生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直す必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	聖地・沖縄での空手修行や縁の地訪問といった強固な目的意識をもったインバウンドが増えてきており、今後、空手ガイドの需要の増加が想定される。	⑥ 変化に対応した取組の改善	空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、英語以外のガイドの養成にも取り組んでいく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	②空手を活用した産業の創出・振興
			施策の小項目名	○新たな産業の創出
主な取組	他産業と連携した空手関連の商品・コンテンツ制作支援		対応する成果指標	空手を組み込んだ体験型観光プログラムや商品等の開発件数
施策の方向	・空手については、武道ツーリズムによる観光産業や商工業等関連産業への波及効果が期待できることから、空手を目的とした交流人口を増やし、「空手関連産業」という新たな産業の創出を図るため、国内外の空手愛好家から観光客まで幅広い層を対象に空手を組み込んだ多様で魅力ある体験型観光プログラムや商品等の開発支援に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
映像制作会社・メディア等と連携した沖縄空手映像コンテンツ制作や沖縄空手を文化資源として活用した空手ツーリズム商品の造成を行うことで、「空手関連産業」という新たな産業の創出を図る。	県,空手関係団体	他産業と連携した空手関連の商品・コンテンツ制作支援		
		制作支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	2件(4件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手産業連携構築支援事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

補助

0

2,000

令和5年度活動内容

修学旅行を誘致することを目的に制作した沖縄空手映像コンテンツ（1件）に対して補助を行った。

予算事業名

空手ツーリズム受入体制構築事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

補助

0

7,528

令和5年度活動内容

観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品に対して補助（2件）を行った。

(単位：千円)

予算事業名

—

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

—

令和6年度活動計画

空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、公募を休止する。

予算事業名

空手ツーリズム受入体制構築事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

補助

10,000

令和6年度活動計画

観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品に対して補助（2件）を行う。

活動指標名

制作支援件数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

件

0件（0件）

3件（3件）

1件（2件）

100.0%

順調

修学旅行を誘致することを目的に制作した沖縄空手映像コンテンツ（1件）、観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品（2件）に対する補助を行い、順調に取組を推進できた。

- 17 -

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手映像コンテンツ（1件）、空手ツーリズム商品（2件）に対する支援を達成し、順調に取組を推進している。 沖縄空手に関する様々なコンテンツを制作することによって、「空手関連産業」の創出に寄与している。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○令和5年度新規事業である「空手ツーリズム受入体制構築事業」において、観光関連事業者と連携し、新たなツーリズム商品の開発に取り組む。 ○多くの事業者が応募してくれるよう、早めに公募を開始し、公募期間を長く設定する。	○令和5年度より「空手ツーリズム受入体制構築事業」を立ち上げ、観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品の開発2件に対して支援した。 ○令和5年度は、公募期間を長く設定し、1事業者からの応募があった。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	空手映像コンテンツ制作については、事業者からの応募が少ない。	⑥ 変化に対応した取組の改善	空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、公募を休止する。 今後は、空手ツーリズム商品の造成に力を入れて取り組んでいく。
⑦ その他（改善余地の検証等）	空手ツーリズム商品の造成について、より多くの観光事業者に参画してもらう必要がある。	② 連携の強化・改善	より多くの観光事業者に参画してもらえよう、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	③eスポーツを活用した新たな展開
			施策の小項目名	○国際大会の誘致等の推進
主な取組	大型 e スポーツイベントの誘致・定着化に向けた調査及び開催支援		対応する成果指標	大型eスポーツイベント参加者数
施策の方向	・ ICTを活用して幅広い世代の多様な人々が楽しむことができ、新たなビジネスとしての可能性があることから、国家戦略特区等を活用した規制緩和の検討など、国際大会の誘致等を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)		実施 主体	年度別計画		
			活動指標(アウトプット)		
			R4	R5	R6
国内外からeスポーツ関連の誘客を図るため、大型イベントの誘致と定着化に向けた基礎調査と開催支援を実施する。		県	国際大会等大型イベントの誘致・定着化に向けた調査	大型eスポーツイベントの開催を通じた課題の抽出、イベント開催支援	
			大型eスポーツのイベント開催支援数(累計)		
			国際大会等大型イベント誘致・定着化に向けた調査	3件	6件(9件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課【098-866-2077】		関連URL	—	

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	-		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
—	—	—	—

令和5年度活動内容

県内外におけるeスポーツの取組状況を幅広く情報収集し、eスポーツイベントの誘致と定着化に向けた基礎調査の準備を進めた。

(単位：千円)

予算事業名	eスポーツ関連基礎調査事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	16,000	

令和6年度活動計画

eスポーツの国際大会や大規模大会の誘致促進等に資する基礎調査を実施する。

活動指標名	大型eスポーツのイベント開催 支援数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		eスポーツ関係団体等へのヒアリングを実施のうえ、eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた基礎調査の内容等について検討を行った。
	-	調査検討の実施	0件	3 件	0.0%	未着手	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた調査を令和4年度に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会が中止、規模縮小となったため、調査実施を見送った。新型コロナウイルス感染症からの回復状況を踏まえ、令和6年度に調査を予定しており、本県における課題整理や必要な対応の検討に取り組むこととしている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 近年、eスポーツに取り組む自治体が増えてきているため、他地域の事例も参考に諸課題の整理を進める。	○ eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた基礎調査の実施に向け、本県におけるイベントの誘致手法や通信環境等に関する諸課題を整理し、調査項目を設定した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	国際大会や大規模大会の誘致にあたり、他地域と比較した本県の優位性や諸課題の整理が十分ではない。	③ 他地域等事例を参考とした改善	他地域の事例調査を実施し、eスポーツの国際大会や大規模大会の誘致促進等に向け、本県における諸課題の整理及び必要な対応について検討を行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	③eスポーツを活用した新たな展開
			施策の小項目名	○新たなビジネスモデルの構築の可能性の検討
主な取組	新たなビジネスモデルの構築の可能性に係る取組の推進		対応する成果指標	大型eスポーツイベント参加者数
施策の方向	・ MICE関連事業者や関係団体と連携し、新たなビジネスモデルの構築の可能性の検討に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)		実施 主体	年度別計画		
			活動指標(アウトプット)		
			R4	R5	R6
eスポーツは新しい産業として可能性があることから、eスポーツ関係団体やMICE関連事業者を中心として連携体制を構築し、新たな産業モデル構築可能性の検討に資する基礎調査を実施する。		県	新たなビジネスモデルの構築に向けた調査	新たなビジネスモデルの構築に向けた課題の抽出、関係機関や業界団体との調整	
			新たなビジネスモデルの構築に向けた調査・諸調整		
			実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課【098-866-2077】		関連URL	—	

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
—	—			

令和5年度活動内容

eスポーツによる産業モデル構築可能性検討のため、eスポーツを活用した各産業の取組状況を情報収集し、調査に向けた準備を進めた。

(単位：千円)

予算事業名	eスポーツ関連基礎調査事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	16,000	

令和6年度活動計画

eスポーツの国際大会や大規模大会の誘致促進等に資する基礎調査を実施する。

活動指標名	新たなビジネスモデルの構築に向けた調査・諸調整		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	調査実施の検討	調査実施の検討	実施	50.0%	大幅遅れ	eスポーツ関係団体等へのヒアリングを実施のうえ、eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた基礎調査の項目等について検討を行い、調査に向けた準備を進めた。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた調査を令和4年度に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会が中止、規模縮小となったため、調査実施を見送った。新型コロナウイルス感染症からの回復状況を踏まえ、令和6年度に調査を予定しており、本県における課題整理や必要な対応の検討に取り組むこととしている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 近年、eスポーツに取り組む自治体が増えてきているため、他地域の事例も参考に諸課題の整理を進める。	○ eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた基礎調査の実施に向け、本県におけるイベントの誘致手法や通信環境等に関する諸課題を整理し、調査項目を設定した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	国際大会や大規模大会の誘致にあたり、他地域と比較した本県の優位性や諸課題の整理が十分ではない。	③ 他地域等事例を参考とした改善	他地域の事例調査を実施し、eスポーツの国際大会や大規模大会の誘致促進等に向け、本県における諸課題の整理及び必要な対応について検討を行う。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	④健康サービス産業の振興
			施策の小項目名	○心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツの利活用
主な取組	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発		対応する成果指標	ウェルネスツーリズムを推進する観光コンテンツ開発件数（累計）
施策の方向	・「食」、「リラクゼーション」、「リハビリテーション」など、心身の健康増進や回復につながるコンテンツについて、効能等の科学的根拠を利活用することで高付加価値化を図り、観光客へのプロモーションに取り組み、健康サービス産業の振興を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	ウェルネス等に関する観光コンテンツ開発への支援		
		支援件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄観光コンテンツ開発支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

補助

105, 607

83, 520

令和5年度活動内容

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発をする事業者を支援した。

予算事業名

沖縄観光コンテンツ開発支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

補助

92, 025

令和6年度活動計画

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発をする事業者10件を支援する。

活動指標名

支援件数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

1件

0件（1件）

1件（2件）

0.0%

やや遅れ

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発をする民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ウェルネス関連のコンテンツ開発に該当する事業計画が申請されなかったため、達成できなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○補助事業を公募する段階で、「心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ」を事例として挙げ、申請を促す。

○補助事業を公募する段階で、公募資料等に「心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ」を事例として挙げ、申請を促した。

- 26 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	今後もウェルネス関連の申請件数を増やすため、「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において、心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ開発を掲げていることを積極的に発信する必要がある	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	補助事業を公募する段階で、公募資料や公募説明会等で「心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ」を事例として挙げ、申請を促す。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-イ	沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出	施 策	④健康サービス産業の振興
			施策の小項目名	○心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツの利活用
主な取組	観光統計実態調査		対応する成果指標	ウェルネスツーリズムを推進する観光コンテンツ開発件数（累計）
施策の方向	・「食」、「リラクゼーション」、「リハビリテーション」など、心身の健康増進や回復につながるコンテンツについて、効能等の科学的根拠を利活用することで高付加価値化を図り、観光客へのプロモーションに取り組み、健康サービス産業の振興を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光統計実態調査を実施し、旅行者の属性や旅行内容、来訪目的などを調査することで、心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ開発を促進する。	県	観光統計実態調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		観光統計実態調査の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/quest/jittai_top.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

県民・観光客実態調査事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

23,743

56,364

令和5年度活動内容

旅行者の属性や旅行内容、来訪目的などを把握するため調査した。

予算事業名

県民・観光客実態調査事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

56,275

令和6年度活動計画

旅行者の属性や旅行内容、来訪目的などを把握するため、調査する。

活動指標名

観光統計実態調査の実施回数
(累計)

R3年度

R4年度

実績値

1回

1回

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

1回 (2回)

1回 (2回)

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

国内観光客については、広告物に掲載したQRコードを観光客が保持する電子端末で読み取り、消費額等の質問に回答する方法で調査した。外国人観光客については、空港等で調査員による聞き取り調査で調査を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光統計実態調査を実施できたことにより目標値を達成した。また、本調査の実施により、施策の企画・立案を促進した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を1,800箇所から2,000箇所へ増やすなど、回収数の向上に努める。

○ 通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を1,800箇所から2,000箇所へ増やすなど、回収数の向上に努めた。

- 29 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、回収数の向上に向けた取組を引き続き実施する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を増やすなど、回収数の向上に努める。